

標準仕様書の現状および標準仕様書の更新

①機能要件や要件の考え方・理由の内容、実装区分等の標準仕様書の内容に関する改善点や見直し要望について

ヒアリングで収集した標準仕様書に関する改善点や見直し要望

No	自治体	意見の収集方法	意見分類	意見内容	対応内容 (標準仕様書の記載内容の変更で対応か、 意見照会の対応方針の変更か 等)	生活保護システムの標準仕様書に対する意見か	対応は生活保護システム内で完結するか、他システム等との調整が必要か	既存の標準仕様書での対応か、新規の要件等の追加での対応か	標準仕様書の修正箇所・内容が明確で追加確認が不要か	既存標準仕様書の修正対象箇所 (機能ID、帳票、項目名等)	意見の検討時期、検討方法
1	新宿区	自治体ヒアリングで収集した意見	その他	・標準システムに直接印刷機能がなく、印刷時にシステムから出力したPDFファイルについて、PDFのアプリケーションを立ち上げ、印刷しており、作業効率が悪くなる懸念がある。※直接印刷機能とは、システム(ブラウザ)上のボタンをクリックすると、印刷機から対象帳票が出力される機能	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化する	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211336 等 (帳票等の出力機能全般) 標準仕様書本編に説明を追加する	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
2	新宿区	自治体ヒアリングで収集した意見	標準化前システムとの差異	・標準システムについて、処理を進めるにあたって必要な入力項目が増えている。 (健診命令の発行について、従来は入力不要だった健診時間の項目を入力しないと発行できない状況となっている)	標準仕様書の帳票の項目の実装区分を見直す 他に該当する帳票はないか確認 (今回のWTは明確なもののみ提示、他に該当するものは次年度の検討事項)	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	17_健診命令書 等	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
3	新宿区	自治体ヒアリングで収集した意見	標準化前システムとの差異	・標準システムについて、処理を進めるにあたって必要な入力項目が増えている。 (健診命令の発行について、従来は入力不要だった健診時間の項目を入力しないと発行できない状況となっている)	標準仕様書の帳票の項目の実装区分を見直す 他に該当する帳票はないか確認 (今回のWTは明確なもののみ提示、他に該当するものは次年度の検討事項)	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0210032 等	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
4	新宿区	自治体ヒアリングで収集した意見	他システムとの連携仕様	・住基システムから取り込んだデータと生活保護システムで管理する必要があるデータに不整合がある。 (例えば住基カード情報について、住基システムから連携される項目よりも生活保護システムで管理する項目が多い。そのため、不整合している項目はシステムに手入力する必要がある。) ・外国人の氏名の項目について住基システムから連携されているが、標準化前システムは姓と名を合わせて一つの項目として連携していたが、標準システムは姓と名を分けて連携し入力されるようになっている。標準仕様書の業務システム間で連携項目や連携するデータの型が合うようにすり合わせをほしい。	・データの不整合については他システムとの調整が必要であるが、他のシステム連携でも同様の不整合があるため対応するかは検討の余地がある ・外国人の項目については、住基システム以外のシステムでもデータの型をそろえる必要があるため、対応するとしても来年度以降になる。	生活保護システム標準仕様書に対する意見	他システム等との調整が必要	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確に定まっておらず、修正箇所・内容を明確にするための追加確認作業が必要	－	来年度以降に、WTで継続検討
5	新宿区	自治体ヒアリングで収集した意見	標準仕様書への今後の機能追加	・ケース記録から査察指導員向け要約自動作成、返還金・徴収金決定起案自動作成、訪問計画作成支援、稼働能力活用検討支援、監査資料作成支援、議会答弁・住民説明資料作成支援、システム操作QAチャットボットがあるなどよい。	標準仕様書への機能追加で対応	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	新規の要件等の追加で対応	－	－	来年度以降に、WTで継続検討
6	東大阪市	自治体ヒアリングで収集した意見	実装区分の見直し	・自治体規模別の実装区分 (都道府県・政令指定都市・一般市) について、ベンダーは実装区分ごとにバリエーションを開発していない。 ・機能要件の実装区分について、ある程度ベンダーの開発に強制力を持たせるために区分の見直しが必要。	各機能要件の実装区分の見直し	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確に定まっておらず、修正箇所・内容を明確にするための追加確認作業が必要	－	来年度以降に、WTで継続検討
7	東大阪市	自治体ヒアリングで収集した意見	機能・帳票要件の既存内容	・医療や経理、債権の機能要件について、自治体ごとの運用に差が多いためか、実際の運用と機能要件の内容が齟齬しにくいと感じている。 (債権の機能は標準化前システムと同じように使えると聞いていたが、実際は機能や使用感は異なっていた。)	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化する	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確に定まっておらず、修正箇所・内容を明確にするための追加確認作業が必要	－	来年度以降に、WTで継続検討
8	東大阪市	自治体ヒアリングで収集した意見	ベンダーとの仕様の解釈の差異の解消	・機能要件について、自治体運用や業務効率化を実現するために、ベンダーに解釈の余地がないように制限する部分も必要と考えている。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化する	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確に定まっておらず、修正箇所・内容を明確にするための追加確認作業が必要	－	来年度以降に、WTで継続検討
9	東大阪市	自治体ヒアリングで収集した意見	標準化前システムとの差異	・標準化前システムで各自治体で導入していたカスタマイズ機能や独自機能を改めて検討し、標準準拠生活保護システムへの実装要否について検討してもらいたい。	標準仕様書への機能追加で対応	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	新規の要件等の追加で対応	－	－	来年度以降に、WTで継続検討
10	東大阪市	自治体ヒアリングで収集した意見	標準仕様書への今後の機能追加	・業務効率化という観点で生活保護システムの機能要件を見直し、追加等を検討してもらいたい。	標準仕様書への機能追加で対応	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	新規の要件等の追加で対応	－	－	来年度以降に、WTで継続検討
11	東大阪市	自治体ヒアリングで収集した意見	今後の支援の検討	・システムの調達において、自治体が事業費を比較するために効果的と想定しているため、各ベンダーの標準オプションの実装状況は整理して度聞してもらいたい。	多くの自治体の標準化移行が済んでいる状況を踏まえ、そもそも各ベンダの実装状況を整理するべきか検討	生活保護システム標準仕様書以外に対する意見	生活保護システムで完結	その他	－	－	来年度以降に、本検討会・厚生労働省において検討を実施
12	東大阪市	自治体ヒアリングで収集した意見	ベンダーとの仕様の解釈の差異の解消	・標準化移行した自治体にヒアリングし、機能の実装内容について、標準仕様書の記載内容とベンダーの解釈が異なる部分を明らかにしてもらいたい。	自治体ヒアリングの結果をもとに対応	生活保護システム標準仕様書以外に対する意見	生活保護システムで完結	その他	－	－	来年度以降に、本検討会・厚生労働省において検討を実施
13	東大阪市	自治体ヒアリングで収集した意見	ベンダーとの仕様の解釈の差異の解消	・「チェックして一括登録できる」という記載について、一覧から1件ずつ選択し、選択したものを一括登録できると想定していても、ベンダーとの機能解釈に差が生じている。ベンダー側は、「チェックする」というのは「画面で確認する」という意味と認識している。(例：機能ID：0210316)	標準仕様書への機能追加で対応	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0210316	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
14	東大阪市	自治体ヒアリングで収集した意見	実装区分の見直し	・「介護保険システムに、生活保護の代理納付消込情報を提供できること。」(2.1版 機能ID：0211713) という機能について、実装必須でないデータ連携そのものができないため、業務運用が難しい。	標準仕様書の実装区分の変更で対応	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211922	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
15	東大阪市	自治体ヒアリングで収集した意見	ベンダーとの仕様の解釈の差異の解消	・単語の意味合いについても、ベンダーとの解釈に差が生じている。 ・「送付日・発行日・作成日」は別の単語と認識しているが、ベンダー側は同じ意味と認識している。 ・「取消し」という用語は、処理があったことを避けて無かったこととし、取消し履歴は残ると思っていたが、ベンダーにおいてはデータそのものを削除する処理としている。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211711 等	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
16	東大阪市	自治体ヒアリングで収集した意見	他システムとの連携仕様	・標準仕様書の機能要件の文言だけでなく、データ要件・連携要件の基本データリストのデータ項目についても、文言の意味合いをそろえる必要があると感じているため、デジタル庁とも協議や調整をしてほしい。	標準仕様書のデータ要件・連携要件、基本データリストのデータ項目の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	他システム等との調整が必要	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確に定まっておらず、修正箇所・内容を明確にするための追加確認作業が必要	－	来年度以降に、WTで継続検討
17	横須賀市	自治体ヒアリングで収集した意見	実装区分の見直し	・標準仕様書のオプション機能について、担当ベンダーが実装必須機能でないと対応しない方針となっているため、標準オプション機能を実装必須機能にする等、標準オプションの在り方について今後検討してほしい。	各機能要件の実装区分の見直し	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確に定まっておらず、修正箇所・内容を明確にするための追加確認作業が必要	－	来年度以降に、WTで継続検討

18	横須賀市	自治体ヒアリングで収集した意見	標準化前システムとの差異	・標準化前システムでは出力出来ていた、おむつの要否意見書が出力されない。	標準仕様書への機能・帳票追加で対応	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	新規の要件等の追加で対応	－	－	来年度以降に、WTで継続検討
19	横須賀市	自治体ヒアリングで収集した意見	標準化前システムとの差異	・標準化移行に伴い、独自カスタマイズの機能が使えないため、業務負担となっている。 (例えば、医療機関へ送付する要否意見書の送付書について、標準化移行前は自動出力機能があったが、標準化移行後は機能がないため、別途出力するのが手間になっている。)	標準仕様書への機能追加で対応	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	新規の要件等の追加で対応	－	－	来年度以降に、WTで継続検討
20	横須賀市	自治体ヒアリングで収集した意見	標準化前システムとの差異	・保護決定通知書について、標準化移行前は措置年月日が異なる場合でも基本的に1枚で出力されていたが、標準化移行後は措置月ごとに出力されるようになったため、発行枚数が増えた。	標準仕様書の機能要件・帳票要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確に定まっておらず、修正箇所・内容を明確にするための追加確認作業が必要	－	来年度以降に、WTで継続検討
21	横須賀市	自治体ヒアリングで収集した意見	標準化前システムとの差異	・債権に関する機能や給食費の支給処理に関する機能について、カスタマイズを実施していたが、標準仕様書には掲載されていない。	標準仕様書への機能追加で対応	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	新規の要件等の追加で対応	－	－	来年度以降に、WTで継続検討
22	横須賀市	自治体ヒアリングで収集した意見	機能・帳票要件の既存内容	・保護決定通知書の支給方法を記載する部分について、口座振込か窓口支給のいずれかのみ表示される形であり、措置年月日ごとに異なる支給方法を表示できない状況である。 ・随時支給時に一時的に窓口支給を実施する場合に、保護決定通知書に口座振込が表示されてしまうため、手打ちで、決定通知書に修正文を追記している。公的文書の記載内容と支給の実態に差異が出るリスクがあるため、対応を検討してほしい。	標準仕様書の機能要件・帳票要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	49_保護決定通知書	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
23	中野区	自治体ヒアリングで収集した意見	標準化前システムとの差異	・標準化前システムでは、領収書をバーコードで読み込んで費用の処理をしているが、標準システムでは当該機能がなくなるため、Excel等で領収書の処理を実施することが想定される。	標準仕様書への機能追加で対応	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	新規の要件等の追加で対応	－	－	来年度以降に、WTで継続検討
24	中野区	自治体ヒアリングで収集した意見	今後の支援の検討	・標準化移行後にシステム上の不便な点を改修するための費用や時間が必要と考えているので、標準システムの運用保守や改修に予算やリソースを割きたい。また、改修に向けた支援が必要と考えている。	システム改修に向けた補助金等の支援の検討	生活保護システム標準仕様書以外に対する意見	生活保護システムで完結	その他	－	－	来年度以降に、本検討会・厚生労働省において検討を実施
25	豊後大野市	自治体ヒアリングで収集した意見	標準化前システムとの差異	・医療要否意見書に関して、標準化以前は就労の可否に関する記載欄があったが、標準化後は記載欄がなくなったため、就労の可否に関する添付文書を作成する必要が生じた。業務が煩雑化したため、就労の可否に関する記載欄を標準様式に追加してほしい。	標準仕様書の機能要件・帳票要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確に定まっておらず、修正箇所・内容を明確にするための追加確認作業が必要	－	来年度以降に、WTで継続検討
26	豊後大野市	自治体ヒアリングで収集した意見	標準化前システムとの差異	・医療扶助の標準様式「調剤券」に関して、標準化以前は処方医療機関名が表記されていたが標準化後表記されなくなったため、受領書の特外に処方医療機関名を記載する必要性が発生した。受領書に処方医療機関名が表示されるようにしてほしい。	標準仕様書の機能要件・帳票要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	107_調剤券受領書	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
27	豊後大野市	自治体ヒアリングで収集した意見	標準化前システムとの差異	・データ分析等に活用していた一部の帳票、データ抽出機能及びEUC機能が標準化後は利用できなくなる場面があった。 (対象者の資産情報等のデータをCSV出力したいと考えていたが、できない旨ベンダーから回答があった。)	標準仕様書への機能追加で対応	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	新規の要件等の追加で対応	－	－	来年度以降に、WTで継続検討
28	豊後大野市	自治体ヒアリングで収集した意見	標準化前システムとの差異	・検索履歴の機能がなく使いにくいと感じている。	標準仕様書への機能追加で対応	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	新規の要件等の追加で対応	－	－	来年度以降に、WTで継続検討
29	豊後大野市	自治体ヒアリングで収集した意見	標準仕様書への今後の機能追加	・世帯類型の入力に関して、世帯の構成と入力した類型が明らかに間違ってもエラー等が出ることはないため、入力時にエラー・アラート表示があれば確認業務が削減される。 ・医療券のフラグ管理等の他の項目についても、別の処理に関連するものについてはエラー・アラート表示があることが望ましい。	標準仕様書への機能追加で対応	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	新規の要件等の追加で対応	－	－	来年度以降に、WTで継続検討
30	豊後大野市	自治体ヒアリングで収集した意見	機能・帳票要件の既存内容	・ケース記録に関して、原則として紙に印刷して使用しているが、印刷時に決裁欄の位置が帳票の端に寄っているので、調書に揃じると押印や閲覧が難しい。改善の要望をベンダーに伝えたが、標準様式のためレイアウト変更ができないとの回答があった。	標準仕様書の機能要件・帳票要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	14_ケース記録票	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
31	豊後大野市	自治体ヒアリングで収集した意見	他システムとの連携仕様	・オンライン資格確認はうまくいっていない。中間サーバに情報をアップロードすることはできているが、医療機関から閲覧できないとの意見が寄せられているため、システム上の不具合があると考える。	オンライン資格確認の運用について検討	生活保護システム標準仕様書以外に対する意見	他システム等との調整が必要	その他	－	－	来年度以降に、本検討会・厚生労働省において検討を実施
32	豊後大野市	自治体ヒアリングで収集した意見	他システムとの連携仕様	・生活保護システムから中間サーバへの情報の自動連携もうまくいっておらず、データアップロードのため暫定的にUSBを使用している。	理由は機能がないからか、ベンダの実装状況によるものかを確認 標準仕様書の機能要件・帳票要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確に定まっておらず、修正箇所・内容を明確にするための追加確認作業が必要	－	来年度以降に、WTで継続検討
33	豊後大野市	自治体ヒアリングで収集した意見	機能・帳票要件の既存内容	・ケース記録作成時に収入申告書の受理状況や健康診断の受診状況についてフラグで管理できるが、入力したフラグは帳票に出力されない。	標準仕様書への機能追加で対応	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	新規の要件等の追加で対応	－	－	来年度以降に、WTで継続検討
34	豊後大野市	自治体ヒアリングで収集した意見	標準化前システムとの差異	・救護施設への診断書の事業所払いをするためには、別途、救護施設を非計上したうえで支払登録を実施する作業が発生し業務が煩雑化している。	標準仕様書への機能追加で対応	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確に定まっておらず、修正箇所・内容を明確にするための追加確認作業が必要	－	来年度以降に、WTで継続検討
35	豊後大野市	自治体ヒアリングで収集した意見	その他	・就労自立支援給付金の算定処理に関して、帳票上のデータシステム上のデータに不整合が発生している。	標準仕様書の機能要件・帳票要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確に定まっておらず、修正箇所・内容を明確にするための追加確認作業が必要	－	来年度以降に、WTで継続検討
36	柏市	自治体ヒアリングで収集した意見	その他	・担当ベンダーに標準システムの仕様に関する要望を伝えたが、標準仕様書に記載がないため対応不可である旨の連絡を頻繁に受けている。	意見照会の実施方法について、検討会で検討	生活保護システム標準仕様書以外に対する意見	生活保護システムで完結	その他	－	－	来年度以降に、本検討会・厚生労働省において検討を実施
37	中野区	自治体ヒアリングで収集した意見	標準仕様書への今後の機能追加	・一括処理等の業務効率化に関する機能については、標準化を進められると良いと考える。	標準仕様書への機能追加で対応	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	新規の要件等の追加で対応	－	－	来年度以降に、WTで継続検討

38	横浜市	自治体ヒアリングで収集した意見	他システムとの連携仕様	・標準システムへのデータ項目について、政令指定都市において本庁と区福祉事務所、区福祉事務所のデータ連携を実現するためには、基本データリストに定義されたデータ項目では不足している。 よって、本庁と区福祉事務所のデータ連携の実現のために、基本データリストのデータ項目とは別に追加のデータ項目を作成してほしい。	・標準仕様書への機能追加で対応 ・標準仕様書のデータ要件・連携要件、基本データリストにデータ項目を追加	生活保護システム標準仕様書に対する意見	他システム等との調整が必要	新規の要件等の追加で対応	－	－	来年度以降に、WTで継続検討
39	横浜市	自治体ヒアリングで収集した意見	他システムとの連携仕様	・他標準準拠システムから直接連携できるデータ項目を充実させてほしい。	・標準仕様書への機能追加で対応 ・標準仕様書のデータ要件・連携要件、基本データリストにデータ項目を追加	生活保護システム標準仕様書に対する意見	他システム等との調整が必要	新規の要件等の追加で対応	－	－	来年度以降に、WTで継続検討
40	横浜市	自治体ヒアリングで収集した意見	その他	・現在、標準仕様書が法制度の改正に対応できていないものがあるため、法制度改正に迅速に対応してほしい。	法制度改正の対応について検討	生活保護システム標準仕様書以外に対する意見	生活保護システムで完結	その他	－	－	来年度以降に、本検討会・厚生労働省において検討を実施
41	横浜市	自治体ヒアリングで収集した意見	標準仕様書への今後の機能追加	・休日夜間に被保護者が受診できるように、被保護者に事前に渡しておく休日夜間の診療依頼書という帳票を発行できるようにしたい。	標準仕様書への機能追加で対応	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	新規の要件等の追加で対応	－	－	来年度以降に、WTで継続検討
42	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	実装区分の見直し	該当機能要件に関しては標準仕様でオプション項目となっているが、当該機能では手動バッチによる保護費作成となるため、担当者の操作遅れ等により、保護費の作成遅れが発生する懸念があります。 保護費の未作成は支給遅延や支給滞りに直結し、市民生活へ大きな影響を及ぼす危険性があります。 制度の安定運用と市民への影響回避の観点から、手動バッチではなく、スケジュール管理によるバッチ処理を実現していただくことを要望します。 合わせて例外時のみ手動対応を可とする等、確実性を担保できる仕組みの構築をお願いします。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211583	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
43	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・法律に基づいて管理項目を整理しているのであれば、協会けんぽ・組合保険は健康保険法なので「健康保険」としてまとめ、国家公務員共済組合法なので「共済」としたのであれば、船員保険法の「船員」も必要ではないか。高齢者の医療の確保に関する法律として「後期高齢者医療」も必要ではないか。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211936	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
44	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・「社会保険の有無」が「健康保険の有無」と重複する意味に混同されやすい。また、レセプト上ではいわゆる協会けんぽ・組合保険を「社保」と呼ぶことから、ここの「社会保険」が何を指すのかきちんと明確にしたい。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211936	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
45	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・旧機能 I D : 0211358では「障害手帳（障害者手帳には療育手帳もあるため追加すべき。）」、「自立支援医療の有無（精神、更生、育成医療）」についても管理しているため、こちらと管理項目は同じにするべきではないか。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211936	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
46	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・他法（その他の公費負担医療）についても申請時から管理が必要であるため、「特定医療（軽症高額含む）」、「小児慢性特定疾患」、「感染症法」、「結核」、「精神措置入院」、「公害」、「原爆医療」、「石綿」についても他法の確認、登録が必要である。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211936	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
47	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・「肝炎治療特別促進事業」のように、社保（ここでの健康保険、共済、船員等）の資格を保有しており生保との併用である場合は、他法優先となる事業もある。このため、「その他他法」という少数ではあるが、それ以外の項目を管理できる項目が必要であると考える。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211936	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
48	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・他法関係が出てくる項目の記載を統一いただきたい。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確に定まっておらず、修正箇所・内容を明確にするための追加確認作業が必要	－	来年度以降に、WTで継続検討
49	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・「要介護：1～5」、「要支援：1～2」【介護保険担当課】 ・「難病」、「公害」、「原爆医療」【保健所（健康部）】※場合によっては都道府県管轄はそれぞれ、介護保険担当課、保健所（健康部）の管理データであるが、連携・取込は必要な項目でもある。連携が絡む項目については、デジテの管理上で連携項目となっているかも照合するなど、記載を統一いただきたい。現行仕様では、連携項目である障害システムから生保システムとの連携について、連携項目と整合性がとれていない。障害データの項目内から削除して別項目で管理するか、障害システムから各システムからというような表記に変えていただきたい。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211911	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
50	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・旧機能 I D : 0211225と同様の意見でこちらと揃えるべきではないか。以下、旧機能 I D : 0211225と同文 ・法律に基づいて管理項目を整理しているのであれば、協会けんぽ・組合保険は健康保険法なので「健康保険」としてまとめ、国家公務員共済組合法なので「共済」としたのであれば、船員保険法の「船員」も必要ではないか。高齢者の医療の確保に関する法律として「後期高齢者医療」も必要ではないか。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211948	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
51	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・「社会保険の有無」が「健康保険の有無」と重複する意味に混同されやすい。また、レセプト上ではいわゆる協会けんぽ・組合保険を「社保」と呼ぶことから、ここの「社会保険」が何を指すのかきちんと明確にしたい。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211948	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
52	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・障害手帳には療育手帳もあるため、「障害者手帳の有無（身体障害者手帳、精神障害者手帳、療育手帳）」を追加するべき。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211948	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
53	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・他法（その他の公費負担医療）についても申請時から管理が必要であるため、「特定医療（軽症高額含む）」、「小児慢性特定疾患」、「感染症法」、「結核」、「精神措置入院」、「公害」、「原爆医療」、「石綿」についても他法の確認、登録が必要である。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211948	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
54	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・「肝炎治療特別促進事業」のように、社保（ここでの健康保険、共済、船員等）の資格を保有しており生保との併用である場合は、他法優先となる事業もある。このため、「その他他法」という少数ではあるが、それ以外の項目を管理できる項目が必要であると考える。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211948	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
55	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	実装区分の見直し	・「医療要否意見書等送付書」について、機能要件は○なのに、帳票要件は○となっており整合性があっていないと感じるのかゆが。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0210298	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
56	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・医療要否意見書についてはオンライン資格確認の医療券・調剤券と異なりデータ送信していないため、「又はデータ（選択可）」は不要ではないか。要否意見書の電子化の話についてこれまで厚生労働省から意見を求められたこともあるため、そのありを想定してこの記載なのであれば問題はないと考える。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0210301	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討

57	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・旧機能ID：0210303新機能ID：0211832に記載の「発行日」の意は何か。いわゆる印刷した日が発行日で、送付した日を別で管理できるという主旨ですか？ 同一であれば機能要件上付けて管理することは混乱を呼ぶと思います。システムベンダからは、送付日＝発行日で管理できているという回答がありました。もし機能要件上の意図とシステム機能に乖離があるのであれば機能要件の日本語表現に修正が必要かもしれません。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正に対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211739	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
58	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・転帰区分については、医療要否意見書の転帰には「治癒、死亡、中止」の3つしか使用しない想定である。そのため、医療要否意見書に記載したい内容をシステム入力するというのがあれば、このIDには前述の3点で必要十分ではないか。転帰詳細は医療券・調剤券の転帰理由として登録すればいいのではないか。あるいは、旧機能ID：0210361の医療券・調剤券の転帰理由と揃えればいいのではないか。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正に対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211890	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
59	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・そもそも返券＝返戻と理解すればいいのか。返戻を意図するのであれば旧機能ID：0210332の「返戻、再発行、無効、取消の処理、管理ができること。」の項目等と言葉を揃えていただきたい。返券と返戻が別の意図なのであれば明確に使い分けをしたい。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正に対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211890	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
60	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・旧機能ID：0210322記載の医療券の「認定区分」と異なる。「認定区分」として使用するなら用語の意味を統一してもらいたい。こちらは「認定区分」ではなく、承認・未承認の項目を管理する名称であれば「嘱託医の意見」であると考ええる。であれば、「承認・未承認」に「本庁協議」も追加すべきと考ええる。このままでは、医療要否と認定区分の意味が混合してしまうと考ええる。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正に対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211890	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
61	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・「健康保険」と「社保」が混在していると思われる。旧機能ID：0211225、旧機能ID：0211358と同様、法律に基づいて管理項目を整理しているのであれば、協会けんぽ・組合保険は健康保険法なので「健康保険」としてまとめ、国家公務員共済組合法なので「共済」としたのであれば、船員保険法の「船員」も必要ではないか。高齢者の医療の確保に関する法律として「後期高齢者医療」も必要ではないか。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正に対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211957	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
62	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・医療券・調剤券の併用券としてのみ他法情報を記載するのであれば、「年金」は不要と考える。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正に対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211957	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
63	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・他法（その他の公費負担医療）についても申請時から管理が必要であるため、「小児慢性特定疾患」、「精神措置入院」、「公害」、「石綿」についても他法の確認、登録が必要である。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正に対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211957	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
64	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・「肝炎治療特別促進事業」のように、社保（ここでは健康保険、共済、船員等）の資格を保有しており生保との併用である場合は、他法優先となる事業もある。このため、「その他他法」というくく少数ではあるが、それ以外の項目を管理できる項目が必要であると考ええる。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正に対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211957	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
65	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・本人支払額の表記が医療券・調剤券、治療材料券、施術券、介護券（介護保険制度適用）、介護券（介護保険制度適用外）でそれぞれ異なるように読み取れる。 本人支払額」と「本人支払額の金額」は同じものだと感じる。 医療券・調剤券は医療機関のみが支払先であるし、介護券は介護機関のみが支払先であるため、かつこの中の記載の意図がわからない。このため、下記の様に統一して修正するのはどうか。 ・余剰額（保護決定上の余剰額） ・本人支払額（券上の表示・決定額） ・本人支払額発生月 ・本人支払額割当月 ・本人支払額の支払先（※） （※）内は、医療券・調剤券は「医療機関」、治療材料券は「治療材料業者」、施術券は「施術者」、介護券（介護保険制度適用・介護保険制度適用外）は「介護機関」	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正に対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211957	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
66	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・本人支払額の表記が医療券・調剤券、治療材料券、施術券、介護券（介護保険制度適用）、介護券（介護保険制度適用外）でそれぞれ異なるように読み取れる。 本人支払額」と「本人支払額の金額」は同じものだと感じる。 医療券・調剤券は医療機関のみが支払先であるし、介護券は介護機関のみが支払先であるため、かつこの中の記載の意図がわからない。このため、下記の様に統一して修正するのはどうか。 ・余剰額（保護決定上の余剰額） ・本人支払額（券上の表示・決定額） ・本人支払額発生月 ・本人支払額割当月 ・本人支払額の支払先（※） （※）内は、医療券・調剤券は「医療機関」、治療材料券は「治療材料業者」、施術券は「施術者」、介護券（介護保険制度適用・介護保険制度適用外）は「介護機関」	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正に対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0213037	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
67	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・本人支払額の表記が医療券・調剤券、治療材料券、施術券、介護券（介護保険制度適用）、介護券（介護保険制度適用外）でそれぞれ異なるように読み取れる。 本人支払額」と「本人支払額の金額」は同じものだと感じる。 医療券・調剤券は医療機関のみが支払先であるし、介護券は介護機関のみが支払先であるため、かつこの中の記載の意図がわからない。このため、下記の様に統一して修正するのはどうか。 ・余剰額（保護決定上の余剰額） ・本人支払額（券上の表示・決定額） ・本人支払額発生月 ・本人支払額割当月 ・本人支払額の支払先（※） （※）内は、医療券・調剤券は「医療機関」、治療材料券は「治療材料業者」、施術券は「施術者」、介護券（介護保険制度適用・介護保険制度適用外）は「介護機関」	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正に対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0210397	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
68	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・本人支払額の表記が医療券・調剤券、治療材料券、施術券、介護券（介護保険制度適用）、介護券（介護保険制度適用外）でそれぞれ異なるように読み取れる。 本人支払額」と「本人支払額の金額」は同じものだと感じる。 医療券・調剤券は医療機関のみが支払先であるし、介護券は介護機関のみが支払先であるため、かつこの中の記載の意図がわからない。このため、下記の様に統一して修正するのはどうか。 ・余剰額（保護決定上の余剰額） ・本人支払額（券上の表示・決定額） ・本人支払額発生月 ・本人支払額割当月 ・本人支払額の支払先（※） （※）内は、医療券・調剤券は「医療機関」、治療材料券は「治療材料業者」、施術券は「施術者」、介護券（介護保険制度適用・介護保険制度適用外）は「介護機関」	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正に対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0213038	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討

69	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・本人支払額の表記が医療券・調剤券、治療材料券、施術券、介護券（介護保険制度適用）、介護券（介護保険制度適用外）でそれぞれ異なるように読み取れる。 本人支払額」と「本人支払額の金額」は同じものと感ずる。 医療券・調剤券は医療機関のみが支払先であるし、介護券は介護機関のみが支払先であるため、かっこの中の記載の意図がわからない。このため、下記の様に統一して修正するのはいかがでしょうか。 ・余剰額（保護決定上の余剰額） ・本人支払額（券上の表示・決定額） ・本人支払額発生月 ・本人支払額割当月 ・本人支払額の支払先（※） （※）内は、医療券・調剤券は「医療機関」、治療材料券は「治療材料業者」、施術券は「施術者」、介護券（介護保険制度適用・介護保険制度適用外）は「介護機関」	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0213039	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
70	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・「無効」と「取消」の違いは何を想定されているか。一部システムベンダは同じ意味だと解釈していますが、異なる場合は明確に記載が必要だと考えています。仮にDBから消えていゐるもの、DBには残っているがシステム画面上で確認できなくなるもの、DBに残っておりシステム画面上でも無効や取消にしたことが確認できるもの、など、意図して表現を分ける方がよいのではないかと考える。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0210332	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
71	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・「医療担当者」とは、帳票項目の「取扱担当者名」を指しているのか、もしそうなのであれば帳票項目には「医療担当者」という項目名はないため、「取扱担当者名」へ修正するべき。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211487	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
72	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	実装区分の見直し	・「医療扶助台帳情報」について、機能要件上はのゝのに、帳票要件は〇で整合性があてないよう読み取れる。	標準仕様書の機能詳細要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211141	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
73	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・「医療扶助台帳情報」「医療扶助認定（決定）調査」を指すのか、「医療券交付処理簿」「調剤券交付処理簿」を指すのか？「台帳情報」という用語は他で使用されていないため、「交付処理簿」であるならば、その意図が伝わるように文言修正したほうがよいと考える。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211141	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
74	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・「年度給付券交付台帳」「施術券交付処理簿」「治療材料券交付処理簿」をそれぞれ指すのか？「交付台帳」という用語は他で使用されていないため、「交付処理簿」であるならば、その意図が伝わるように文言修正をしたほうがよいと考える。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211141	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
75	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・当該機能に関しては「返券・治癒による医療終了」ではなく、要否意見書にて得た意見と要否を登録する必要があるものではないか。券の支給ではなく、回収した意見と判断の登録が必要であるため、「給付の要否（要か否か放棄か）」の項目が必要と考える。なお、併せて医療要否意見書の項目と揃えていただきたい。 ・加えて、「嘱託医の意見」も必要であると考え。管理項目として「承認・未承認・本庁協議」も追加すべきである。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211891	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
76	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・発行日がないが必要な項目だと考えられるため追加いただきたい。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211711	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
77	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・旧機能 I D：0211739でも確認したいが、旧機能ID：0210303新機能ID：0211832に記載の「送付日」と「発行日」の違いは何ですか。いわゆる印刷した日が発行日で、送付した日を別で管理できるといふ主旨なのか、意図が違うものなのかどうか意図が分かりづらいと考えます。同一であれば機能要件上分けて管理することは混乱を呼ぶと思います。システムベンダからは、「送付日」=「発行日」で管理できているという回答がありました。もし機能要件上の意図とシステム機能に乖離があるのであれば機能要件の日本語表現に修正が必要かもしれませんが、同一で不要であれば、統一して削除することを提案します。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211711	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
78	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・「給付方法（金銭）」とあるが、金銭給付は治療材料で原則認められていないのではないかと解釈しています。必要に応じて厚労省にも確認いただきたい。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211711	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
79	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・治療材料の給付券において、「転帰区分」の機能要件がない。医療券・調剤券同様の「転帰区分」が必要ではないか。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211711	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
80	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・「無効」と「取消」の違いは何を想定されているか。一部システムベンダは同じ意味だと解釈していますが、異なる場合は明確に記載が必要だと考えています。仮にDBから消えていゐるもの、DBには残っているがシステム画面上で確認できなくなるもの、DBに残っておりシステム画面上でも無効や取消にしたことが確認できるもの、など、意図して表現を分ける方がよいのではないかと考える。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211090	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
81	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・「交付日」と「発行日」の意図が違うものなのかどうか意図が分かりづらうと考えます。他IDでは「発行日」または「送付日」とも表記されています。すべて含めて同一ということと不要なのであれば統一いただきたいです。分けて管理する主旨であれば、単語の意味を定義する必要があると考えます。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0212014	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
82	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・「転帰区分」について施術の給付要否意見書（帳票レイアウト）には「治癒、中止、継続」の3つしかない。給付要否意見書に記載いただいた内容をシステム入力するというのがあれば、この I D には前述の3点で必要十分ではないか。詳細は給付券の転帰理由として登録すればよいのではないか。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0212014	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
83	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・この項目は意見書回収登録であるが、施術の給付券において「転帰区分」の機能要件がない。医療券・調剤券同様に「転帰区分」が必要ではないか。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0212014	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
84	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・当該機能に関しては「返券・治癒による施術終了」ではなく、要否意見書にて得た意見と要否を登録する必要があるものではないか。券の支給ではなく、回収した意見と判断の登録が必要であるため、「給付の要否（要か否か放棄か）」の項目が必要と考える。なお、併せて医療要否意見書の項目と揃えていただきたい。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0210394	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
85	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・加えて、「嘱託医の意見」も必要であると考え。管理項目として「承認・未承認・本庁協議」も追加すべきである。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0210394	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
86	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・「返券・治癒による施術終了」と「転帰区分」が同一と考えます。「転帰区分」について施術の給付要否意見書（帳票レイアウト）には「治癒、中止、継続」の3つしかない。給付要否意見書に記載いただいた内容をシステム入力するというのがあれば、この I D には前述の3点で必要十分ではないか。詳細は給付券の転帰理由として登録すればよいのではないか。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0210394	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
87	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・この項目は意見書回収登録であるが、そもそも施術の給付券において「転帰区分」の機能要件がない。医療券・調剤券同様の「転帰区分」が必要。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0210394	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討

88	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・旧機能 I D：0211739でも確認したいが、旧機能ID：0210303新機能ID：0211832に記載の「発行日」の違いは何ですか。いわゆる印刷した日が発行日で、送付した日を別で管理できるという主旨なのか、意図が違うものかどうか意図が分かりづらと考えます。同一であれば機能要件上分けて管理することは混乱を呼ぶと思います。システムベンダからは、「送付日」＝「発行日」で管理できているという回答がありました。もし機能要件上の意図とシステム機能に乖離があるのであれば機能要件の日本語表現に修正が必要かもしれません。同一で不要であれば、統一して削除することを提案します。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211744	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
89	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・「無効」と「取消」の違いは何を想定されていますか。ベンダーは同一と解釈していますが、異なる場合は明確に記載するべきだと思います。無効としてデータを残すことと取消としてデータを削除することを想定されているのであれば、明記して区別するべきだと考えます。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211093	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
90	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・「健康保険」と「社保」が混在していると思われる。旧機能 I D：0211225、旧機能 I D：0211358と同様、法律に基づいて管理項目を整理しているのであれば、協会けんぽ・組合保険は健康保険法なので「健康保険」としてまとめ、国家公務員共済組合法なので「共済」としたのであれば、船員保険法の「船員」も必要ではないか。高齢者の医療の確保に関する法律として「後期高齢者医療」も必要ではないか。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0210463	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
91	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・石綿による健康被害の救済に関する法律の「石綿」も介護保険優先公費のため必要。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0210463	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
92	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・介護保険の優先公費に「結核」はあるが、別の機能IDで「感染症」と「結核」について使い分けをしているのであれば、「結核」に変更すべき。「結核」は介護保険優先公費であるが、その他の「感染症法」は介護保険優先公費ではないため。 ・修正後の内容は下記のとおり ・他法情報（健康保険、船員、共済、自立支援医療、特定医療、結核、原爆医療、石綿） ・介護要件の登録において資格の話をしているため、「介護券情報」である上記3点を管理する必要がなく不要であると考える。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0210463	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
93	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・「健康保険」と「社保」が混在していると思われる。旧機能 I D：0211225、旧機能 I D：0211358と同様、法律に基づいて管理項目を整理しているのであれば、協会けんぽ・組合保険は健康保険法なので「健康保険」としてまとめ、国家公務員共済組合法なので「共済」としたのであれば、船員保険法の「船員」も必要ではないか。高齢者の医療の確保に関する法律として「後期高齢者医療」も必要ではないか。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0213038	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
94	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・介護券の併用請求との管理としてのみ他法情報を記載するのであれば、「年金」「各種手当」「雇用保険」は不要と考える。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0213038	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
95	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・石綿による健康被害の救済に関する法律の「石綿」も介護保険優先公費のため必要。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0213038	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
96	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・介護保険の優先公費に「結核」はあるが、別の機能IDで「感染症」と「結核」について使い分けをしているのであれば、「結核」に変更すべき。「結核」は介護保険優先公費であるが、その他の「感染症法」は介護保険優先公費ではないため。 ・修正後の内容は下記のとおり ・他法情報（健康保険、船員、共済、自立支援医療、特定医療、結核、原爆医療、石綿）	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0213038	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
97	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・医療券・調剤券にある「発行日」がない。記入漏れと思われるので追加いただきたい。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0210476	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
98	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・旧機能 I D：0211739でも確認したいが、旧機能ID：0210303新機能ID：0211832に記載の「発行日」の違いは何ですか。いわゆる印刷した日が発行日で、送付した日を別で管理できるという主旨なのか、意図が違うものかどうか意図が分かりづらと考えます。同一であれば機能要件上分けて管理することは混乱を呼ぶと思います。システムベンダからは、「送付日」＝「発行日」で管理できているという回答がありました。もし機能要件上の意図とシステム機能に乖離があるのであれば機能要件の日本語表現に修正が必要かもしれません。同一で不要であれば、統一して削除することを提案します。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211803	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
99	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・4.1.介護券の交付（介護保険制度適用）にあっても4.2.介護券の交付（介護保険制度適用外）（2号みなし）の居宅介護支援計画等に係る介護券、介護券それぞれに「送付日」の機能IDがないので揃えるため追加すべきであると思います。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211803	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
100	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・旧機能 I D：0210500の資格情報に「保険者名」があるのでこちらの機能IDに記載で漏れてはいいか。「保険者名」を追加いただきたい。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0210486	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
101	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・医療券・調剤券にある「発行日」がない。記入漏れと思われるので追加いただきたい。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0210497	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
102	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・「健康保険」と「社保」が混在していると思われる。旧機能 I D：0211225、旧機能 I D：0211358と同様、法律に基づいて管理項目を整理しているのであれば、協会けんぽ・組合保険は健康保険法なので「健康保険」としてまとめ、国家公務員共済組合法なので「共済」としたのであれば、船員保険法の「船員」も必要ではないか。高齢者の医療の確保に関する法律として「後期高齢者医療」も必要ではないか。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0210500	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
103	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・石綿による健康被害の救済に関する法律の「石綿」も介護保険優先公費のため必要。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0210500	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
104	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・介護保険の優先公費に「結核」はあるが、別の機能IDで「感染症」と「結核」について使い分けをしているのであれば、「結核」に変更すべき。「結核」は介護保険優先公費であるが、その他の「感染症法」は介護保険優先公費ではないため。 ・修正後の内容は下記のとおり ・他法情報（健康保険、船員、共済、自立支援医療、特定医療、結核、原爆医療、石綿） ・介護要件の登録において資格の話をしているため、「介護券情報」である上記3点を管理する必要がなく不要であると考える。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0210500	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
105	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・4.2.介護券の交付（介護保険制度適用外）（2号みなし）では被保険者ではないため不要のため削除ください。旧機能ID：0211817 新機能ID：0211963の逆で、介護保険制度適用者のみ使用する帳票になります。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0210510	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討

106	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・旧機能 I D：0210500と同様の修正が行えていない。（国保が消えてない。など）	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0213039	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
107	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・「健康保険」と「社保」が混在していると思われる。旧機能 I D：0211225、旧機能 I D：0211358と同様、法律に基づいて管理項目を整理しているのであれば、協会けんぽ・組合保険は健康保険法なので「健康保険」としてとめ、国家公務員共済組合法なので「共済」としたのであれば、船員保険法の「船員」も必要ではないか。高齢者の医療の確保に関する法律として「後期高齢者医療」も必要はないか。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0213039	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
108	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・介護療養の併用請求との管理としてのみ他法情報に記載するのであれば、「年金」「各種手当」「雇用保険」は不要と考える。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0213039	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
109	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・石綿による健康被害の救済に関する法律の「石綿」も介護保険優先公費のため必要。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0213039	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
110	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・介護保険の優先公費に「結核」はあるが、別の機能IDで「感染症」と「結核」について使い分けをしているのであれば、「結核」に変更すべき。「結核」は介護保険優先公費であるが、その他の「感染症法」は介護保険優先公費ではないため。 ・修正後の内容は下記のとおり ・他法情報（健康保険、船員、共済、自立支援医療、特定医療、結核、原簿医療、石綿）	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0213039	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
111	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・介護療養についてはオンライン資格確認の医療券・調剤券と異なりデータ送信していないため、「又はデータ（選択可）」は不要ではないか。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0210520	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
112	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・医療券・調剤券にある「発行日」がない。記入漏れと思われるので追加いただきたい。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0210521	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
113	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	実装区分の見直し	本機能は標準仕様でオプション要件としている。しかし、このままオプションに留めると、現時点で口座振替による収納を行っている債権の徴収が困難となり、市単位で数千円規模の損失が発生する可能性がある。 ※1 口座振替利用者は生活保護受給者や廃止ケース共に、納付書での収納が難しい世帯が多い。※2 口座振替が利用できない場合、債務者に負担を強いることとなり、市民サービスの質が大きく低下する恐れがある。 全債権における口座振替利用者の割合は約3分の1、廃止ケースでは約半数にのぼり、口座振替は極めて重要な支払方法の一つである。 また、別の旧機能ID※3では口座振替が仕様上必須要件となっている箇所も存在するが、旧機能ID：0211537はオプション要件となっており、整合性に疑問が生じる。支払い方法として口座振替を選択可能とする以上、旧機能ID：0211537は実装必須と考える。 こうした状況を踏まえ、債権収納率の維持や債務者の利便性確保、さらに仕様構造の観点からも、旧機能ID：0211537については、標準化移行済の自治体へのヒアリング等を通じて、実装区分が適切かどうか今一度検討を強くお願いしたい。	標準仕様書の機能要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	2.4版機能ID:0211537	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
114	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・柔道整復は最大3ヵ月が認定期間の様式となっているため、4ヵ月以降の認定は存在しない。「1 2 3 4 5 6」ではなく「1 2 3」に修正すべき。	標準仕様書の帳票要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	帳票：114_帳票レイアウト_給付 要否意見書（柔道整復）の項目 「※嘱託医意見 期間123456」	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討
115	東大阪市	自治体委員から個別で受領した意見	機能・帳票要件の既存内容	・はりきゅう、あん摩マッサージでは、「往療」のみでなく、「訪問施術」の請求が可能となり、施術券では様式にそれぞれ対応済である。意見書で「往料」が必要な理由しか記載する箇所がない。このため「往料、または訪問施術が必要な場合その理由」へ修正すべき。	標準仕様書の帳票要件の記載内容を詳細化・修正	生活保護システム標準仕様書に対する意見	生活保護システムで完結	既存の標準仕様書の修正で対応	修正箇所・内容が明確で、修正箇所・内容の追加の確認作業が不要	帳票：113_帳票レイアウト_給付 要否意見書（あん摩・マッサージ、はり・きゅう）の項目「要否意見（施術者記載欄） 往療が必要な場合その理由」	標準仕様書2.4版の改定に向けたWTで検討

ヒアリングで収集した標準仕様書の見直し要望以外の意見・コメント

No	自治体	意見の収集方法	意見分類	意見内容
1	東大阪市	自治体ヒアリングで収集した意見	機能・帳票要件の既存内容	・保護、ケースワーク、査察指導に関する機能要件は業務実態に即している。
2	中野区	自治体ヒアリングで収集した意見	ベンダーとの仕様の解釈の差異の解消	・ベンダーとの標準仕様書の解釈の違いは、現時点では特に発生していない。ベンダーの解釈に合わせて、業務運用を変更するというスタンスで移行作業を実施している。
3	中野区	自治体ヒアリングで収集した意見	機能・帳票要件の既存内容	・標準仕様書の記載について、修正希望は特にない。 （保護決定・変更処理等の実施要領に定められた事務を実現するための機能は、どのベンダーも概ね機能内容に差はないと想定しているので、標準仕様書で細かく機能要件化する必要はないと考える。）
4	中野区	自治体ヒアリングで収集した意見	実装区分の見直し	・実装区分については、ベンダーと調整は発生していない。 担当ベンダーから、現行システムで使用している標準オプション機能は、可能な限り実装すると伺っている。
5	豊後大野市	自治体ヒアリングで収集した意見	実装区分の見直し	・実装必須機能及びオプション必須機能の現状の整理に関する意見は特段ない
6	武蔵野市	自治体ヒアリングで収集した意見	機能・帳票要件の既存内容	・標準システムの仕様に対する意見はない。現在使用している標準システムで特に運用上問題は発生していない状況である。 （当市は基本的に、標準システムに合わせて、業務運用を変更する考え方で移行作業を実施している。）
7	群馬県	自治体ヒアリングで収集した意見	機能・帳票要件の既存内容	・標準システムの改善点や機能の見直し等の要望や意見は、当県のCWや所管の自治体から受領していない。
8	群馬県	自治体ヒアリングで収集した意見	ベンダーとの仕様の解釈の差異の解消	・標準化移行時の、標準仕様書のベンダーと自治体の解釈の違いによる問題は発生していない。
9	柏市	自治体ヒアリングで収集した意見	機能・帳票要件の既存内容	・移行直後は標準化移行に伴い、カスタマイズ機能が標準システムに実装されなくなり、CWからの問い合わせや苦情が増加したが、現在は特に標準システム上で見直すべき点はない。 （標準システムの仕様に合わせて業務運用をどのように変更できるかという考えで標準化移行を進めてきた。）
10	仙台市	自治体ヒアリングで収集した意見	ベンダーとの仕様の解釈の差異の解消	・標準仕様書に合わせて業務運用を変更する考え方であるため、標準化移行にあたって事業者との調整は難航していない。
11	仙台市	自治体ヒアリングで収集した意見	機能・帳票要件の既存内容	・標準仕様書について、現時点で大きな修正要望はない。